

授業科目	情報の理解と表現				単位	1		
履 修	選択	関連資格	養教一種免		ナンバリング	WE10514J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP5-1			
担当教員	古川 洋章							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>実務家教員として、システムエンジニアの経験から、情報技術を活用し自身が伝えたい内容を表現・伝達するための知識および技能について授業を実施します。</p> <p>情報社会において、発信する情報を相手に適切に伝えるためには、情報の特性を正しく理解し、媒体において最適な表現となるように加工・デザインする必要があります。</p> <p>この授業では、計算機を用いた演習を通じて、情報を Web ページとして構成し、視覚的に表現する方法について学びます。</p> <p>本授業では、自身の学習成果や作品を授業中に発表していただきます。また発表や作品に対して、教員の評価に加えて、学生による相互評価を成績に反映します。</p> <p>なお、この授業は遠隔授業として実施します。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. テーマに関する情報を検索・収集して、自身が伝えたい内容を準備できる。 2. 知的財産と著作権を配慮して、収集した情報をわかりやすく加工・デザインできる。 3. 情報や表現媒体の特性をふまえた、視覚的表現を構成できる。 4. 日々の生活のなかで接する情報やその表現について、批判的思考(クリティカル・シンキング)により評価することができる。 5. 発表を通じて、自身の考えや作品を他者にわかりやすく説明することができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	10	20	40	30	0	100	
知識・理解 (DP1-1)		10	20	10	20		60	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)				20	20		40	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ul style="list-style-type: none"> ・(具体的な達成の目安：標準的なレベルに加えて) ・情報やその表現に対する高度な知識を備えることができる。 ・視覚的にわかりやすい表現のためのプログラミングができる。 ・情報やその表現に対する論理的・批判的思考を備えることができる。 ・自身の考えや成果を、他者に適切に伝えることができる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・知的財産と著作権に配慮し、情報を性格かつ適切に伝達・発信することができる。 ・表現意図に合わせて、簡単な Web ページを構成することができる。 ・自身の考えや成果を、発表することができる。 				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	・オリエンテーション 本授業の概要と、授業で利用するソフトウェアやシステムについて学習する	講義 演習	予習:なし 復習:基本的なコンピュータの操作方法、ソフトウェアやシステムの利用方法について理解する	30
2	・情報の特性と著作権・情報モラル 情報発信を行う上で求められる基本的態度や考え方、および情報の取り扱い方について学習する	講義 小テスト	予習:著作権法、情報モラルについて調べる 復習:講義の内容をもとに、自身の使い方を振り返る	40
3	・HTMLとCSS(1) Web ページ作成の基本的知識である、HTMLとCSSの導入部分について学習する	講義 演習	予習:HTMLとCSSについて調べる 復習:授業にて学習した内容を理解し、演習課題について取り組む	60
4	・HTMLとCSS(2) HTMLとCSSについて、基礎的な内容について学習する	講義 演習	予習:HTMLとCSSについて調べる 復習:授業にて学習した内容を理解し、演習課題について取り組む	60
5	・HTMLとCSS(3) HTMLとCSSにおけるセレクタの概念と使い方について学習する	講義 演習	予習:HTMLとCSSについて調べる 復習:授業にて学習した内容を理解し、演習課題について取り組む	60
6	・HTMLとCSS(4) 画像の挿入および入力フォームの作成方法について学習する	講義 演習	予習:HTMLとCSSについて調べる 復習:授業にて学習した内容を理解し、演習課題について取り組む	60
7	・HTMLとCSS(5) HTMLとCSSを用いたテーブルデザインの作成方法について学習する	講義 演習	予習:HTMLとCSSについて調べる 復習:授業にて学習した内容を理解し、演習課題について取り組む	60
8	・JavaScript(1) 動的な Web ページを作成するためのプログラミング言語である JavaScript の導入部分について学習する	講義 演習	予習:JavaScript について調べる 復習:授業にて学習した内容を理解し、演習課題について取り組む	60
9	・JavaScript(2) JavaScript を用いて HTML 要素を操作する方法について学習する	講義 演習	予習:JavaScript について調べる 復習:授業にて学習した内容を理解し、演習課題について取り組む	60
10	・JavaScript(3) 条件に応じて処理を分岐する方法について学習する	講義 演習	予習:JavaScript について調べる 復習:授業にて学習した内容を理解し、演習課題について取り組む	60

11	・JavaScript(4) ある条件下で処理を繰り返し実行する方法について学習する	講義 演習	予習: JavaScript について調べる 復習: 授業にて学習した内容を理解し、演習課題について取り組む	60
12	・課題制作(1) 指示されたテーマについて課題を制作する。	演習	予習: 授業で学んだ内容について確認する 復習: 課題について取り組む	60
13	・課題制作(2) 指示されたテーマについて課題を制作する。 また発表資料を作成する。	演習	予習: 課題について取り組む 復習: 課題および発表資料を作成する	60
14	・課題発表 制作した課題について各自発表を行う。 また受講生間での相互評価を行う。	発表(プレゼンテーション)	予習: 課題を完成させ、発表資料の作成、および発表練習をする 復習: 相互評価により得られたフィードバックをもとに自身の発表を振り返る、レポート課題に取り組む	60
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なコンピュータの操作(キーボードによる文字入力、マウス操作など) ・Web ブラウザの基本的な操作 ・インターネットを利用した情報検索 			
テキスト	教科書の指定はありません。必要に応じて授業資料を配布します。			

参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・文化庁 著作権制度の概要 : {https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/gaiyo/} ・MDN Web Docs HTML : {https://developer.mozilla.org/ja/docs/Web/HTML} ・MDN Web Docs CSS : {https://developer.mozilla.org/ja/docs/Web/CSS} ・MDN Web Docs JavaScript: {https://developer.mozilla.org/ja/docs/Web/JavaScript} ・jQuery API: {https://api.jquery.com/} ・Visual Studio Code: {https://azure.microsoft.com/ja-jp/products/visual-studio-code}
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>本授業では、情報を相手に適切に伝えるための知識および表現するための技能について、動的な Web ページの作成を通じて学びます。Web ページを作成する際に Visual Studio Code というソフトウェアを使用しますので、自身で利用できる PC を所持していると良いです。自身で利用できる PC を所持していない場合は、大学の自習室を利用するなど、PC が利用できる環境を準備してください。</p> <p>本授業で使用するソフトウェアの導入方法・使用方法については、授業内で説明します。</p> <p>また、コンピューターの基本的な操作(キーボードによる文字入力、マウス操作など)ができるようになっておくと受講しやすいです。</p> <p>本授業の内容を理解するためには、授業時間だけではなく授業時間外においても、積極的に予習や復習を行ってください。インターネットや大学および公共の図書館等を活用して、幅広く情報収集することを心がけてください。</p> <p>なお、受講生の理解や授業進度に応じて、授業計画を変更する可能性があります。その際は授業中に説明します。</p>
達成度評価に関するコメント	<p>小テスト、レポートおよび課題のテーマの内容については、授業内で指示します。</p> <p>学生相互評価時に記入した点数やコメントについても、最終的な評価の対象となります。</p>